



ともだち

〈編集・発行〉
社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
府中市立心身障害者福祉センター
〒183-0026
府中市南町5丁目38番地
TEL 042-360-1313 (代)
FAX 042-368-6127
メール fs_mail@f-sinsyo.jp
http://www.f-sinsyo.jp

ふくし へいわ ～ピース【福祉センターの平和】～

今年度の「ともだち新聞」では「～ピース福祉センターの平和～」をテーマに一年間発行しています。各事業の取り組みの中からピースなひとときや楽しく過ごす工夫、エピソードを紹介しします。



さぎょうせいかつ 作業生活

さぎょうせいかつじっしゅうくねん (せいかつかいご) 作業生活実習訓練 (生活介護)

現在18歳以上の知的障害、身体障害の方を対象に通所事業を行っています。運動・音楽・工作等のプログラムを一人ひとりに合わせて組み立てる生活実習部門と、陶芸・革工作・紙すき等作業活動を中心に行う作業部門に分かれています。



こちらは利用者さんが活動で作ったぶどうを飾っている場面です。

かつどうぼめん

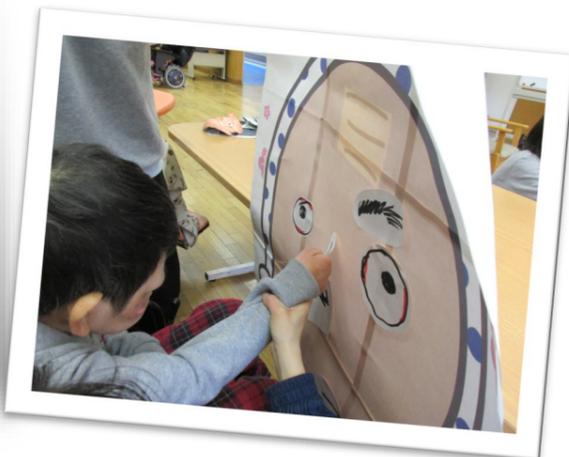
ふだん 普段のピースな活動場面



こちらは「感覚」の活動で、ボールプールの上で揺れている利用者さんで、笑顔が見えたピースな写真です。

しんねんかい 新年会

今年も作業生活が平和でありますように



作業生活では、新年初めの通所日には毎年新年会を開催しています。それぞれのグループで、坊主めくりや福笑い、書初めなどを行いました。また、獅子舞に頭をかじっていただくなど一年間健康で過ごせるよう利用者さんの平和を祈っています。

はばたけ！あゆの子♪

そつえんおめでとう！

～卒園によせて～

今年度はあゆの子の通園から9名のお子さんが巣立っていきます。卒園を迎える保護者の方から、一言ずついただきました。

入園してから言葉が増えて気持ち伝えられるようになり、息子自身を深くよく知る事ができました。いたずらもあつたりするけれど笑顔でいてくれる事がとても嬉しいです。

匿名・母

右も左も分からなかった年少から現状を把握できるようになった年中へ、そして先の事を考えられるようになった年長と、この3年間は私達家族にとって大切な時間でした。ありがとうございました。

つばさ・母

3年間お世話になりました。息子が自然体でいられる。それを受け止めてもらえる。更には息子のおかしな行動を楽しんでくれる。人生で一番感謝した3年間でした。ありがとうございました！

匿名・母

ちゅうりっぷからさくらまで3年間かよいました。コロナ禍の3年間で制限も多い中ですが、毎日楽しく過ごし、沢山成長を見守ることができました。3年間ありがとうございました！！

匿名・母/父

あっと驚くような事をしてかす息子に振り回された3年間で大変な時もありましたが、毎日楽しくあゆの子に通うことができたのも先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

えいた・母

一日のほとんどの時間を大きなトランポリンで過ごし、家にも置いて欲しいと言われた時は困りました。挑戦することに尻込みしてしまう子に寄り添って見守ってくださったこと感謝しております。

しょうま・母

めだかグループから約4年間お世話になりました。当初は全く言葉を話せず、とても心配でしたが、今では挨拶や歌も少し歌えるようになりました。これからの成長もとても楽しみです。

はるき・母

入園した頃は階段の登り降りさえも拙いものでしたが今では一人で手すりなしで登るようになりました。卒園まではトイレの上達と好き嫌いを減らし、あゆの子で楽しく遊んで成長してください。

匿名・母

入園前面談の時の、横で遊んでいる姿を思い出します。成長したね！卒園おめでとう！！先生、お友達とママ達に出会えたことが、心から嬉しく感謝でいっぱいです！

そう・母

かせ
街の風

その56

かほしま
剛之
ごうし

足が疲労して……

僕は一つの物を長く使いたい方だ。例えば携帯電話、使い始めて二十年で三台目だ。それも、初代から二代目に替わる時は、電波の都合で替えなければいけなかったので、進んで替えたわけではない。

最近、食事に使っているテーブルの足が壊れてきた。僕の部屋には似たようなテーブルがもう一つあり、電話や書類を載っけているので、そっちと入れ替えて騙し騙し使っていた(二十年近く使った)。でも、時々足が折れテーブルの上の物(電話や本)が崩れ落ち、それを直すのに五分くらいかかってしまうので、いい加減買い換えようと思い、地元のお店に行った。同じサイズの座卓を見付けるのは大変だ思ったが、意外とあっさり見つかった。店員に声を掛け、初めは帰ろうと思ったのだが、いざ見てみると思ったより大きくて、当然持って帰れそうになく、送ってもらう事にした。が、近々には送ってもらえず、日付を選択し二週間後に配達が決まった(家から近いのに……)。これで二週間後テーブルの足を気にせず本が読める。

実は最近、僕の左足が痛い。多分、原因はこの夏に病気になる前、約二週間アパートの部屋で寝たっけりの生活をしてきたのだ。その時に筋肉が衰えて、足が動きにくくなったのだろう。テーブルは買い換えれば済むのだが、僕の左足は替えがきかない(でも五十五年間使っているからしょうがないか……)。

梶島剛之さん紹介

脳性まひによる四肢体幹機能障がい(両手足が不自由・電動車椅子を使用)昭和42年生まれ。平成11年より念願の一人暮らしを始める。福祉センター肢体不自由者当事者相談員(ヒアカウンセラー)。

『かばのOh!あくびく中年編』季節を感じながら歩いた街かどで、迷子になったぼく』を出版されています。